サムライジャパン　3ヵ国テストマッチ

日　付	2018年7月12日　17:00～		
場　所	川崎重工ホッケースタジアム	天　候	晴れ
試　合	第4戦	通算結果	日本　1勝　1分 2敗

RESULT

Country				Country
Japan	1	(0 － 0 / 0 － 4 / 0 － 2 / 1 － 0)	6	Germany

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✔	1	山﨑　晃嗣			
✔	4	三谷　元騎			
✔	5	田中　世蓮			
4	6	落合　大将			
✔	7	村田　和麻			
4	8	星　卓			
✔	9	田中　健太			
✔	11	北里　謙治			
✔	13	山下　学(C)			
4	14	田中　海渡			
4	17	福田 健太郎			
6	20	大橋　雅貴			
✔	25	山田　翔太			
✔	28	高野　雄介(GK)			
✔	29	膳棚　大剛			
16	30	吉川　貴史(GK)			
5	31	渡辺　晃大			
✔	32	霧下　義貴			
Coach		AIKMAN Siegfried			
Manager		牧本　智之			
UMPIRE		TAKAHASHI Hideyuki (JPN)			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
	1	APPEL Mark (GK)			
✔	3	GRAMBUSCH Mats			
✔	4	WINDFEDER Lukas			
✔	6	HÄNER Martin ©			
4	8	MEYER Julius			
✔	10	NGUYEN Dan			
4	12	HERZBRUCH Timm			
✔	13	HAUKE Tobias			
4	14	RABENTE Jan Philipp			
✔	15	GRAMBUSCH Tom			
✔	17	RÜHR Christopher		56	
✔	18	WEINKE Ferdinand			
✔	21	WALTER Tobias (GK)			
✔	22	MILTKAU Marco			
✔	23	FUCHS Florian			
4	25	HINRICHS Teo			
4	29	GROßE Johannes			
3	32	BRUNS Niklas			
Coach		KERMAS Stefan			
Manager		VERBOOM Eric			
UMPIRE		UJIIE Kenta (JPN)			

Team	Minute	Name	Action	Score
GER	16	FUCHS Florian	FG	0-1
GER	20	MILTKAU Marco	FG	0-2
GER	24	MILTKAU Marco	FG	0-3
GER	27	WINDFEDER Lukas	PC	0-4
GER	33	RÜHR Christopher	FG	0-5
GER	39	HERZBRUCH Timm	PC	0-6

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	51	村田　和麻	FG	1-6

強い日差しと蒸し暑い気候の中、日本とGドイツのテストマッチが開始された。
第1Q、ドイツのセンターパスにより、が開始された。ややドイツのペースで試合が進むが、日本はハーププレスを中心に守りを固め、カウンターを狙う展開となるが、お互いに決定機を作ることができず、0－0のまま第1Qが終了した。
第2Qに入り、立ち上がり16分ドイツは華麗なパスワークで日本DFを崩し、＃23FUCHS Florianが先制点を決める。日本も16分PCを獲得するが、ドイツの固い守備に阻まれる。その後20分ドイツは早いカウンターから＃22MILTKAU Marcoがタッチシュートを決め2－0とする。その後もドイツのペースで試合は進み、24分、右サイドから日本DFを崩し、中央で＃22MILTKAU Marcoが合わせ、リードを3点に広げる。さらにドイツの攻撃は続き、27分PCを獲得する。一度は日本DFが止めるも、アゲインとなった2本目、＃4WINDFEDER Lukasがドラックを決め、リードを4点とする。日本もカウンターから攻撃するが、なかなかドイツDFを崩すことができないまま第2Qが終了した。
第3Qに入り、開始早々日本がPCを取得。＃25山田のフリックが相手に当たり、こぼれ球を＃7村田がリバースシュートを打つも、惜しくもクロスバーに当たり得点することができない。33分ドイツは左サイドから攻め上がり、＃17RUHR Chistopherが合わせ、5－0とする。39分ドイツはPCを取得。バリエーションから＃12 HERZBRUCH Timmが決め6－0とする。43分ドイツは日本DFを崩し、PSを取得。このPSを＃28高野がファインセーブし得点を許さない。そのまま第3Qが終了した。
第4Qに入り、得点の欲しい日本は、前線からハイプレッシャーをかけるが、ドイツは空いたスペースを利用しチャンスをつくるが、日本も＃28吉川のファインセーブで得点を許さない。日本は51分、右サイドから＃1山崎が崩し、最後はゴール逆サイドで＃7村田が合わせ1点を返し1－6とする。その後は両チームチャンスを作るものの、決めきることができず、1対6でドイツが勝利した。

JPN	4	シュート数	7	GER
	3	PC数	3	

文責　男子日本代表コーチ　穴井　善博